

4 履修科目の内容及び解説

必須履修科目一覧

実務訓練履修科目				
大項目	中項目	最低必須 単位数	履修内容	備考
0 建築家としての倫理と行動	0-1 建築家としての 倫理と行動	5	・建築家として業務を実行するにあたっての 倫理観と行動方針に対する理解	
1 プロジェクトマネジメント業務	1-1 プロジェクトの マネジメント	20	・プロジェクトを円滑にする為の方法と実務の理解 ・マネジメントチームの編成	
2 設計前業務	2-1 企画	20	・計画の前提となる建築主からの 要望の整理手法の修得	
	2-2 敷地及び環境調査	15	・プロジェクトの成立する背景としての 敷地及び環境調査及び敷地利用計画への理解	
3 基本計画業務	3-1 基本計画の検討	25	・基本計画レベルでの各種の検討の 理解と手法の修得	
	3-2 構造及び 設備計画等との調整	25	・構造及び設備計画等の理解と調整	*1
	3-3 建設コスト管理	20	・予算案作成や適正なコスト管理の理解	*2
	3-4 関連法規調査及び 諸官庁手続き	20	・関連法規や条例の調査方法及び 諸官庁手続き実施への理解	*2
4 基本設計業務	4-1 基本設計	50	・基本設計図書の作成に至る実務の修得	
5 実施設計業務	5-1 実施設計図書の作成	140	・実施設計図書の作成技術の修得と 建築主による承認プロセスの理解	
	5-2 仕様及び材料の検討	25	・仕様の理解と材料、工法の専門知識の修得	
	5-3 設計図書の総合調整	20	・実施設計完了時での構造、設備等の理解、 及びチェック、調整に至る実務の修得	
6 工事発注に関する業務	6-1 工事契約への協力	15	・工事契約に係わる実務と責任の理解及び 契約工事費の決定、工事費の査定、調整の理解	
7 監理業務	7-1 監理	55	・監理者として工程、品質が契約書や設計意図を 満足させる監理技術の修得	
8 工事完成後業務	8-1 工事完成後業務	10	・工事完成後の業務への理解	
9 事務所運営業務	9-1 事務所の管理・運営	5	・事務所運営に必要な活動のノウハウの理解	
10 関連活動	10-1 職能関連・ コミュニティ活動	5	・建築家及び市民としての社会貢献への 参加の基礎となる社会活動	
合計		475		

注1 実務訓練終了に必要な総単位数は700単位であり、そのうち上記475単位分については各項目において最低必須履修単位を設定している。従って残りの225単位についてはどの項目で取得しても構わない。また実務訓練開始前及び実務訓練期間中に一級建築士資格を取得した者は申請により、選択科目100単位を免除する。

注2 原則として7時間の実務訓練をもって一単位とする。

注3 *1印の項目は基本設計及び実施設計段階でも行われる業務である。

注4 *2印の項目は基本設計、実施設計及び監理段階でも行われる業務である。